

和太鼓一家！太鼓で繋がる家族の太い絆



みのり太鼓メンバー

なかいずみ ゆいと

中泉唯人さん

「3月みのり太鼓の単独公演は、観客の期待以上のものにした
い！」と語る中泉さん

みの~れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.102

寒さに負けずにパンジーやビオラ、クリスマスローズも花壇やプランターで可愛らしく咲いていますね。22日は冬至！この日にかぼちゃを食べると風邪の予防になったり、金運が上がったりするなどの説があるそうです。柚子風呂に入って元気に年越しをしましょう。今回は、みのり太鼓のメンバーで石岡市にお住いの中泉唯人さん取材します。

太鼓と出逢って

今の自分がある

中泉さんは茨城工業高等専門学校
の4年生。みのり太鼓との出会いは、いとこが入っていた演劇ファミリーMyuの公演「RENDA」(Myu、みのり太鼓住民楽団ジョリーフォレストジャズオーケストラが共演)を、母と弟と3人で鑑賞したときだそうです。「一つ違いの弟が太鼓に興味を持ち、先に入団しました。私は少年野球をやっていたので、すぐには入団しなかったのですが、母と一緒に弟を迎えに行くようになると、団のメンバーから『唯人も、入れよう』と声をかけてもらえるようになり、中学1年生になった時に入団しました。さらに、1年後には母もみのり太鼓の社会人チームである『楽み』に入団し、現在は月2回練習をしています。どこから見てもバリバリの和太鼓家族ですね(笑)。小学校高学年から兄弟げんかはしたことがないくらい兄弟仲がよく、母も一緒に太鼓をやっているので協力的

です」と、みのり太鼓で繋がっている家族について嬉しそうに話してくれました。

また、みのり太鼓に入る前はいつも下を向いているようなおとなしい子だったと話す中泉さんは、「みのり太鼓では、メンバーみんな曲を作ったり、わいわいやったりしているうちに性格が明るくなったと思います。人前に出るのが大好きになりました。楽しくなりましたね。快感とまではいかなかったです(笑)！いろいろな人から『性格が変わったな！』と言われるようになり、本当に入団して良かったなって思っています」と爽やかでした。

太鼓への想いを聞いてみると、「中学では陸上部と太鼓を両立しました。今はバイトをしながら太鼓の練習もしています。忙しいと感じますが、太鼓があるからどれも上手く回せると思っています。練習に行けない日があると、次の週には太鼓を叩きたいなって思うんです。上手く打てるようになり、音で遊べるようにもなりましたので、弟とかけあいをしたり、気が付いたら膝をたたいていたり・・と

心から太鼓が好きなきんが伝わってきました。

3月にみのり太鼓にて開催されるみのり太鼓の公演では、演出を担当する一員とのこと。「演出に加わってみて、今までキャストとして演じるだけのとときと比べると見方が変わってきました。演出では、自分の意見を取り入れてもらえるようになり、認められていると思えることが嬉しいのと、『メンバー」ともに創り出している！』という感じがしてとてもやりがいがあります。また、家族をはじめ親戚も和太鼓が大好きなので、今度の公演を楽しみにして応援してくれています」と、中泉さん。

来年1月、2月には、和太鼓のワークショップがみのり太鼓であります。皆さんも、どどんっ！と叩いてみませんか？

今年も12名の輝いている皆さんとお話が出来たことに、またMinole Lifeが100号達成できたことに感謝して、来年も素晴らしい年になりますように・・・

(藤田佐知子)